

(平成22年度末)

都道府県名	整備率	順位	都道府県名	整備率	順位
北海道	93.7%	9	福井県	90.4%	11
青森県	71.6%	37	滋賀県	97.9%	3
岩手県	—	—	京都府	95.4%	6
宮城県	—	—	大阪府	95.7%	5
秋田県	79.9%	25	兵庫県	98.2%	2
山形県	87.2%	16	奈良県	84.7%	18
福島県	—	—	和歌山県	51.9%	43
茨城県	77.2%	30	鳥取県	90.7%	10
栃木県	79.2%	27	島根県	72.1%	36
群馬県	73.0%	34	岡山県	79.3%	26
埼玉県	88.0%	13	広島県	82.2%	20
千葉県	83.2%	19	山口県	80.3%	23
東京都	99.5%	1	徳島県	49.4%	44
神奈川県	97.3%	4	香川県	68.1%	41
山梨県	75.9%	31	愛媛県	70.3%	38
長野県	95.3%	7	高知県	68.6%	40
新潟県	81.3%	21	福岡県	87.5%	15
富山県	93.8%	8	佐賀県	73.4%	33
石川県	89.8%	12	長崎県	74.2%	32
岐阜県	87.7%	14	熊本県	80.0%	24
静岡県	72.9%	35	大分県	67.2%	42
愛知県	85.2%	17	宮崎県	77.7%	29
三重県	78.0%	28	鹿児島県	69.9%	39
			沖縄県	80.6%	22

- (注) ・汚水処理人口普及率は、平成13年度末までは汚水処理施設整備率とっており、平成14年度末より名称を変更したものである。
- ・汚水処理人口普及率は、下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽、コミュニティプラントの汚水処理施設による整備人口の総人口に対する割合である。
 - ・汚水処理人口普及率は小数点以下2桁を四捨五入している。
 - ・平成22年度末は、東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県、福島県の3県において、調査不能な市町村があるため、今年度は調査対象外としている。